

業 務 設 計 書 (公 示 用)

役務名 札幌市河川環境情報図作成業務

令和5年 10月 単価適用

札幌市下水道河川局事業推進部

役務名 札幌市河川環境情報図作成業務

積算額 円

役務説明

1. 役務の概要

本業務は、札幌市の既存河川環境調査結果、及び河川の整備状況等を地図情報として整理し、河川環境情報図を作成するものである。また、作成した河川環境情報図を河川整備等による生息環境の改善効果、水辺空間の利用可能性（親水性）について評価を行うものである。

2. 履行期間

契約に示す着手の日から令和6年3月20日までとする。

3. 仕様書等

- ① 札幌市土木設計業務共通仕様書
- ② 特記仕様書
- ③ 河川水辺の国勢調査 基本調査マニュアル [河川版] 平成18年度制定 平成28年1月改訂
- ④ その他、本役務に必要な要綱、基準等（業務主任の指示による）

4. 着手

受託者は、本役務を実施するにあたり役務着手前に役務内容の詳細について本市と十分協議し、次の書類を2部提出するものとする。

- ① 業務着手届
- ② 主任技術者等指定通知書
- ③ 業務日程表
- ④ 業務計画書

5. 完了

受託者は、本役務の完了後、速やかに次の書類を2部提出するものとする。

- ① 完了届

6. 納入成果品

- ① 報告書 製本：1部
- ② 電子データ（報告書・写真等） CDもしくはDVD：1部
- ③ その他担当職員が必要とするもの 一式

札幌市河川環境情報図作成業務 仕様書

1 業務目的

本業務は、札幌市の既存河川環境調査結果、及び河川の整備状況等を地図情報として整理し、河川環境情報図を作成するものである。また、作成した河川環境情報図を河川整備等による生息環境の改善効果、水辺空間の利用可能性（親水性）について評価を行うものである。

2 業務の概要

河川環境情報図作成 一式

3 仕様書等

契約約款及び本仕様書に記載されていない事項については、以下の仕様書等の他、担当職員の指定する書類に準じること。

- ・札幌市土木設計業務共通仕様書
- ・河川水辺の国勢調査 基本調査マニュアル[河川版] 平成 18 年度制定 平成 28 年 1 月改訂

4 提出書類

受託者は、契約締結後に、業務着手届、主任技術者等指定通知書、業務日程表、業務計画書を遅滞なく提出しなければならない。

5 TECRIS 登録

受託者は、契約時又は変更時において、契約金額 100 万円以上の業務について、業務実績情報システム（テクリス）に基づき、受注・変更・完了・訂正時に、業務実績情報を「登録のための確認のお願い」により担当職員の確認（署名・年月日記入）を受けた上、受注時は契約締結後、10 日（休日等を除く）以内に、登録内容の変更（「履行期間」「技術者（主任設計者、照査技術者等）」の変更）時は変更があった日から、10 日（休日等を除く）以内に、完了時は完了検査合格後、10 日（休日等を除く）以内に、訂正時は適宜、登録機関に登録申請をしなければならない。

「登録のための確認のお願い」については、担当職員が署名・年月日記入した原本を受託者が保管し、複製を委託者が保管するものとする。

また、登録が完了した際には、登録機関発行の「登録内容確認書」をダウンロードし、直ちに担当職員に提出しなければならない。

なお、変更時と完了時の間が 10 日間（休日等を除く）に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

6 主任技術者等

本業務の実施に当たり、受託者は主任技術者を定め、委託者に通知しなければならない。

7 業務打合せ

打合せ回数は、①業務着手時、②中間時、③成果品納入時とし、主任技術者が立ち会うこと。中間打合せ回数は 3 回とする。

8 業務内容

(1) 計画準備

業務に先立ち、業務の目的・主旨を把握したうえで、設計図書に示す業務内容を確認し、業務計画書を作成し提出すること。

(2) 資料収集・整理

札幌市がこれまでに実施した河川環境調査結果、及び生物の生息状況や生息環境に関する情報を収集し、共通様式への整理する。収集する項目は、表-1 に示すものとし、共通様式はエクセル等を想定するが、詳細は発注者と協議のうえ決定するものとする。

表 1 収集整理対象項目一覧

分類	項目
河川環境調査結果 (平成 10 年から令和 5 年) ※過年度報告書(紙資料) を貸与	・調査位置、調査日時、調査内容 (魚介類、底生動物等の約 7 項目を対象とする) (表-2、表-3 参照)
河川の整備状況 (国、道区間も含む)	・横断構造物(堰・落差工、魚道等)階段工、親水空間、 整備計画
オープンデータ	・土地利用状況、地形、地質、人口、交通網・道路網、 学校等公共施設の位置等
発注者提供データ	・札幌市内動植物データ(平成 12 年～)、既往検討結果など ・水辺の国勢調査(札幌市域内)

※国・道区間において整備状況が確認できる資料がない場合は、航空写真等を用いて横断構造物等の設置状況を確認すること。

(3) 河川調査結果の可視化

収集整理した各種データ、及び基礎情報について、GIS 等を用いて地図情報化(縮尺 1/2500)を想定しているが、詳細は発注者と協議のうえ決定するものとする。なお、調査結果の地図情報化は、各項目のデータ密度に応じて河川流域単位や河川のセグメント単位等の様々なスケールや区間で整理するものとする。

(4) 魚介類等の生息環境ポテンシャル評価

対象河川の魚介類等の生息地ポテンシャルを把握するため、収集整理したデータを用いて、統計解析手法等により対象河川全域を対象とした魚介類、および底生動物の生息環境ポテンシャル評価を行う。

(5) 河川環境改善効果の評価

「4. 魚介類等の生息環境ポテンシャル評価」の結果等を用いて、札幌市管理河川において落差工等の改善により、魚介類、および底生動物の生息環境の改善が期待できる河川・地点の選定、及びその改善効果を整理する。

(6) 水辺空間の利用可能性の評価

整理した河川環境に関する基礎情報から、札幌市管理河川における水辺空間の利用可能性(親水性)について評価を行う。

(7) 報告書作成

業務の目的を踏まえ、業務の各段階で作成した成果をもとに業務報告書を作成すること。また、概要版についても作成すること。

なお、本検討で作成した GIS および CSV 等のデータは、汎用性に留意し整理したものを納品すること。

9 納入成果品

成果を取りまとめ、製本1部・電子データ1部を提出すること。

※電子媒体による成果品の納入について

受注者において、必要なハード及びソフト環境の整備が可能な場合に適用する。図面をCADで作成した場合は担当職員と協議の上、図面と併せて電子媒体（CD-Rなど）によるものも納入すること。

使用ソフトは受注者が使用しているソフトとするが、データの出力は広く一般に使用されている形式（拡張子 dwg、dxf、pdf など）で行うこと。

また、電子媒体提出前に、最新ソフトでのウイルスチェックを行い、納品する媒体のラベルにウイルスチェックに関する下記の情報を記載すること。

- ①使用したウイルス対策ソフト名
- ②ウイルス（パターンファイル）定義年月日またはパターンファイル名

10 環境配慮

本業務においては本市の環境マネジメントシステムに準じ、環境負荷低減に努めること。

- ①電気、水道、油、ガス等の使用にあたっては、極力節約に努めること。
- ②ごみ減量及びリサイクルに努めること。
- ③両面コピーの徹底やミスコピーを減らすことで、紙の使用量を減らすよう努めること。
- ④自動車等を使用する場合は、できるだけ環境負荷の少ない車両を使用し、アイドリングストップの実施など環境に配慮した運転を心がけること。
- ⑤業務に係る用品等は、札幌市グリーン購入ガイドラインに従い、極力ガイドライン指定品を使用すること。
- ⑥本業務の従事者に対して、札幌市環境方針への理解を求めること。

表 2 収集整理対象項目一覧

○：調査結果あり

No	河川名	魚介類	底生動物	植物	鳥類	両生・爬虫・哺乳類	陸上昆虫類	水質・流量	水位・河川断面
1	吉田川	○	○	○	○	○	○	○	○
2	篠路川	○	○	○	○	○	○	○	○
3	山鼻川	○	○	○	○	○	○	○	○
4	うらうちない川	○	○	○	○	○	○	○	○
5	中の川	○	○	○	○	○	○	○	○
6	旧中の川	○	○	○	○	○	○	○	○
7	穴の川	○	○	○	○	○	○	○	○
8	安春川	○	○	○	○	○	○	○	○
9	屯田川	○	○	○	○	○	○	○	○
10	西野川	○	○	○	○	○	○	○	○
11	手稲土功川	○	○	○	○	○	○	○	○
12	丘珠藤木川	○	○	○	○	○	○	○	○
13	追分川	○	○	○	○	○	○	○	○
14	東屯田川	○	○	○	○	○	○	○	○
15	トンネ川	○	○	○	○	○	○	○	○
16	ポントンネ川	○	○	○	○	○	○	○	○
17	熊の沢川	○	○	○	○	○	○	○	○
18	上追分川	○	○	○	○	○	○	○	○
19	創成川	○	○	○	○	○	○	○	○
20	精進川	○	○					○	○
21	山部川	○						○	○
22	ポンノッポロ川	○						○	○
23	真駒内用水	○	○	○	○	○	○	○	○
24	伏籠古川	○	○	○	○	○	○	○	○
25	拓北川	○	○	○	○	○	○	○	○
26	篠路拓北川	○	○	○	○	○	○	○	○

27	三里川	○	○	○	○	○	○	○	○
28	厚別西川	○	○	○	○	○	○	○	○
29	真栄川	○	○					○	○
30	東濁川	○	○	○	○	○	○	○	○
31	丘珠川	○	○	○	○	○	○	○	○
32	丘珠2号川	○	○	○	○			○	○
33	丘珠5号川	○	○	○	○			○	○
34	航路川	○	○	○	○			○	○
35	新琴似川	○	○	○	○	○	○	○	○
36	茨戸耕北川	○	○	○	○	○	○	○	○
37	学田川							○	○
38	旧琴似川	○	○	○	○	○	○	○	○
39	旧琴似川放水路							○	○
40	伏籠川	○	○	○	○	○	○	○	○
41	篠路新川							○	○
42	苗穂川	○	○	○	○	○	○	○	○
43	雁来川	○	○	○	○	○	○	○	○
44	簾舞川	○						○	○
45	オカバルシ川	○	○					○	○
46	盤溪川	○	○	○				○	○
47	左股川	○	○						
48	清田川	○	○						
49	円山川	○	○	○	○	○	○	○	○
50	サクシュ琴似川	○	○						
51	桑園新川	○	○						
52	富丘川	○	○	○	○	○	○	○	○
53	下福移川	○	○	○	○	○	○	○	○
54	大曲川	○	○						
55	発寒川	○	○	○	○	○			
56	西真栄川	○	○	○	○	○	○	○	○
57	丘珠3号水路	○	○	○	○			○	○
58	藤野沢川	○	○	○	○	○	○	○	○

※詳細は発注者と協議のうえ決定するものとする。

業 務 着 手 届

年 月 日

札幌市長 秋元 克広 様

(住所)

受託者

(氏名)

印

下記業務（役務）は 年 月 日着手したのでお届けします。

記

1 役務番号 第 号

2 役務の名称

様式 5 主任技術者等指定通知書（役務用）

<h2 style="margin: 0;">主任技術者等指定通知書</h2>		
年 月 日		
札幌市長 秋元 克広 様		
(住所) 受託者 (氏名)		
印		
役務番号	役務の名称	
上記業務（役務）に係る主任技術者等を次のとおり定めたので、別紙経歴書を添えて通知します。		
区 分	氏 名	備 考

- ・ 「区分」欄には、業務内容に応じ「主任技術者」、「主任設計者」、「照査技術者」等と、それぞれ記載すること。
- ・ 共同企業体の場合は、各技術者等の所属会社名を「備考」欄に記載すること。
- ・ 技術者等と請負人との直接的かつ恒常的な雇用関係を確認できる書類（健康保険証の写し等）を添付すること。

(別紙) 技術者経歴書 (役務用)

※ 主任技術者 主任設計者 主任監理者 設備資格者 照査技術者				経歴書
現住所				
氏名			生年月日	年 月 日
最終学歴	卒業年月	学校名		専攻学科
	年 月			
職歴	年 月	入社 (年 月退職)		
	年 月	入社		
技術資格	年 月			取得No.
	年 月			取得No.
主要業務経歴	業 務 名		受託金額 (千円)	履行期間
	直前1年分			年 月 年 月
				年 月 年 月
	直前2年分			年 月 年 月
				年 月 年 月
	上記のとおり相違ありません。 年 月 日			
氏 名 (印)				

注1) ※印の項目については、該当するものを○で囲むこと。

注2) 最終学歴は、小学校、中学校、高等学校、短期大学、大学又は高等専門学校のいずれかを記載し、専修学校、各種学校等は記載しないこと。

業 務 日 程 表

年 月 日

札幌市長 秋元 克広 様

(住 所)

受託者

(氏 名)

印

下記業務（役務）について、別紙日程をもって履行します。

記

- 1 役務番号 第 号
- 2 役務の名称
- 3 履行期間 着 手 令和 年 月 日
 完 了 令和 年 月 日

